

寄宿舎ってどんなところ？

寄宿舎は、小学部から高等部までの子どもたちが集団生活をしています。子どもの実態を把握し将来的な生活を見通して、一人ひとりの発達に応じた成長を願い、自立した生活を支援する寄宿舎の紹介をします。



1 寄宿舎の生活を通して育てたい力

① 基本的な生活習慣を身につけ、規則正しい生活を送る。

- 毎日の規則正しい生活の中で、食事、排泄、睡眠等、体づくりの基本となる生活リズムを整える力
- 生活の基盤となる清潔面や身辺面等の基本的な生活習慣のスキル向上を図る力

② 豊かな人間関係を構築し、生き生きとした生活につなげる。

- 「やりたいこと」を大切に、主体的に余暇を楽しめる力
- 自ら楽しみを見つけ、興味関心や将来の生活の中で活かせる力
- 仲間との活動を通して、充実感や達成感を持ち、お互いを認め合える力

③ 様々な経験を通して、社会生活力を高める。

- 日課や時間を意識した生活を送り、集団生活における約束やきまりを守れる力
- 金銭管理について理解し、買い物や調理活動に活かせる力
- 情報機器の使用方法を学び、日常生活に活用できる力
- 公共交通機関を利用する経験を通じて、公共の場でのマナーを身につけられる力

④ 健康で安全な生活への意識を高める。

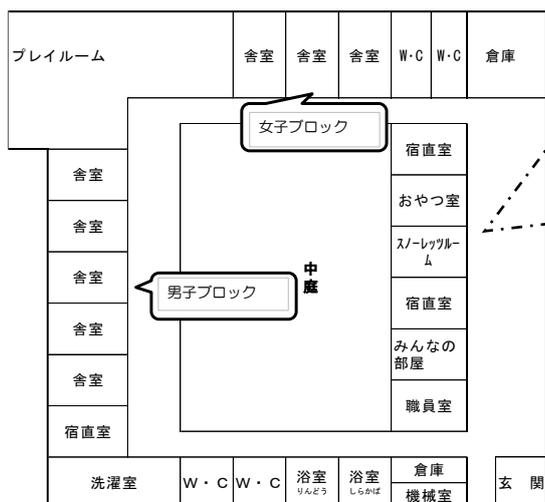
- 心と体の安定を保ち、健康を意識した生活をおくる力
- 自己理解や他者理解をする力
- 自ら防災意識を高められる力

⑤ 個々の実態に応じたコミュニケーション能力を高める。

- 寄宿舎生活を通して、言語力・コミュニケーション力を高められる力
- ブロック会やつどいの中で、自分の考えや思いを伝えられる力
- 人間関係を築き、仲間を思いやる力

2 寄宿舍の見取り図

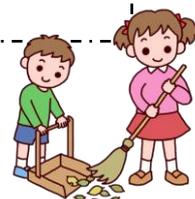
※ 一部屋あたり2名～3名で生活しています。



おやつ室とスノーレツツルーム → 二つの部屋を利用し自立に向けて一人暮らしの練習や調理活動など行っています。

みんなの部屋 → 舎生が集まって話をしたり、少人数での余暇などに利用したりしています。

プレイルーム → つどいや全体行事など、仲間が集まる際に使用します。普段は、テレビを見たり、本を読んだり、テーブルゲームをしたりと憩いの場になっています。



3 寄宿舍の日課

日課	大切にしていること
6:30 起床	着替え・洗面 自立に向け、毎日繰り返し行っています。
7:15 つどい	つどい みんなが集まって、その日の予定の確認や連絡などをしています。
7:30 朝食準備	朝食 食事のマナーや好き嫌いをせずバランスよく食べられるようにしています。
8:15 朝食終了 登校準備	歯磨き 歯磨きカードや砂時計などを使用して、きれいに磨けるようにしています。
8:45 登校	清掃 一人ひとりにあった掃除分担を決め、毎日取り組めるようにしています。
	< 学校 >
15:00 下校 活動 入浴	ブロック会 下校後ホッと一息つきます。学校での様子を話したり、活動の確認をしたりします。
	活動 散歩や装飾作りなどを通じて、体作りや文化的な取り組みをしています。
	入浴 一日の疲れをとり、体を清潔に保つ気持ち良さを体感できるようにしています。
17:45 夕食準備	夕食 食事のマナーや好き嫌いをせずバランスよく食べられるようにしています。
18:30 夕食終了	食堂掃除 食堂掃除は、毎日使用する食堂を丁寧に掃除できるようにしています。
	歯磨き 歯磨きカードや砂時計などを使用してきれいに磨けるようにしています。
19:00 学習 入浴 自由時間	学習 学校の宿題や生活の記録などに集中して取り組めるようにしています。
	入浴 一日の疲れをとり、体を清潔に保つ気持ち良さを体感できるようにしています。
	自由時間 仲間と話をしたり、音楽を聞いたり、ゲームをしたり、部屋でのんびりしたりそれぞれの時間を過ごしています。
	洗濯 自分で洗濯をして、洗った洗濯物は部屋に干します。
21:00 消灯・就寝	就寝 次の日の活力につながるように、安心して休めることを目指しています。

4 寄宿舍の活動

主な活動 例

- 散歩……………クラフトパークや和合公園など池田町の素敵な場所を散歩しています。
- 運動……………グラウンドや体育館で、野球やサッカー、バスケなどをして体を動かして楽しんでいます。
- 制作活動……………折り紙を折ることや絵を描くことなど、舎生の好きなことや得意なところを活かし、玄関装飾や行事に合わせて装飾作りをしています。
- 外出・外食……………余暇の一環として、豊科や松本、大町などの校外へ出かけ、楽しんでいます。公共交通機関（バスや電車）の利用を経験する機会や、公共の場でマナーを覚えたり、メニューを選んだりする機会としています。
- 買い物……………生活に必要なものやおやつを購入する経験、お金を支払う経験をしています。
- マナー講座……………お風呂の入り方、トイレの使い方、食事のマナーなどを学んだり、挨拶や言葉遣い、スマホの使い方など社会人としての姿勢を学んだりしています。
- 生活練習……………個々の目標を持って、調理活動や一人暮らしをイメージした取り組みをしています。
- 一人の余暇……………ブロック全体で仲間と一緒に活動する時間もありますが、時にはのんびり一人で過ごす時間も大切にしています。



主な行事 例

- スタートの会……………一年間楽しく寄宿舍生活を送れるように、自己紹介や寄宿舍の生活についての確認をします。
- 夏まつり……………舎生の希望する内容を中心に、遊びコーナーや有志による発表を行います。
- お楽しみ会……………みんなで体を動かす遊びやゲームをして楽しみます。
- クリスマス会……………ケーキを食べて、みんなでゲームや出し物をして楽しみます。
- まとめの会……………寄宿舍一年間を振り返り、仲間との思い出を作ります。
- 季節の行事……………端午の節句では菖蒲湯に入ったり、冬至にはゆず湯に入ったり、季節の行事を生活の中で行っています。行事のいわれを学び、その行事にちなんだ食べ物を食べて、伝承行事に触れる機会としています。



地域との交流 例

- 新聞配り……………寄宿舍で作った「小さなたね」という新聞を近隣の方に配ります。寄宿舍の様子を知って頂き、地域の方とふれあう良い機会になっています。
- 外部団体との交流……………地域の事業所やサークルの方々と交流を行います。交流先、内容はその年の舎生の興味関心をもとに決めていきます。
- 星を見る会……………天体観測をされている『フォーマルハウト』の皆さんに季節ごとに見える星のお話をしていただいたり、望遠鏡で星の観察をさせていただいたりしています。

5 寄宿舍Q&A

Q1 入舎年数は何年ですか？

A 入舎期間は1年間です。継続入舎を希望する場合は、再度申し込み手続きをしていただき入舎検討の上、決定していきます。

毎年5月～7月に入舎のための体験の希望をとっています。

Q2 寄宿舍の生活を体験することはできますか？

A はい。できます。

「寄宿舍体験」は寄宿舍を利用してみたいと考えている方が、寄宿舍の生活を実際に経験できる機会です。また、寄宿舍はどんなところかと考えている方も、お気軽に声をかけて下さい。なお、次年度入舎を希望される方は必ず寄宿舍体験を行っていただきます。

6 費用

寄宿舍生活に係る費用について

○舎費 年間 9,600円 (月額 800円×12か月)

○個人活動費 年間 6,000円 (月額 500円×12か月)

○食事代 年間 124,500円 (朝食代370円+夕食代460円)×実食数(150泊分)

※上記費用についてはおおよその費用で実際は端数切り上げの額になります。

また就学奨励費より段階に応じて補助があります。

中学部三年間、寄宿舍を利用させていただきました。最初は不安な事もありましたが親切な先生方の指導のおかげで子どもは確実に成長することができ、寄宿舍に入って本当に良かったと思います。

長いようで短い一年でしたがお世話になりました。寄宿舍での生活で数多くの経験をし自分のものとして学んだと思います。洗濯物を物干し場で干す事、またその片づけを自分で出来るようになりました。食事の用意をして食後には食器を自分からやるようになりました。大きな成長を感じています。みんなと生活する場所を少しずつ経験して集団生活に慣れる事ができました。ありがとうございました。

最初は渋々通っていましたが、寄宿舍内で新しい友達ができ今では寄宿舍に泊まるのを楽しみにしています。

性格も入る以前より明るく積極的になり家でお手伝いをしてくれるようになりました。本当にわが子の変化に驚いています。

保護者からの声

寄宿舍に入って生活する事で自分の事は自分でするということが身についてきました。

イベントなども色々あって寄宿のお友達や先生と時間を共有して成長していくのだなと思います。社会性を身につけるためにも家の外で暮らす経験はこれからの人生を助けてくれると思います。何かトラブルがあっても先生方が親切に対応してくれるので安心です。

家での生活だとわがままになり好きな物や好きな事のみをやる方向になりがちですが寄宿だと自分の事は自分でやるのが当然になり、甘えの部分をがんばりに変えていただき親としてやれる幅が増えて助かりました。自分で学校へ行くために何が必要かも本人が気づくことができよかったですと思います。半年もたつと持ち物も自分で用意してくれる姿があり、頼もしく思えました。

先生方のご支援もあり舎の生活を楽しく過ごせるようになりました。生活をしていくうちにできる事も増え不安な時や困った時に自分の気持ちを伝えられるようになってきました。

寄宿舍の生活を通じて余暇の過ごし方や将来に向けた取り組みの中で達成した経験と自信に繋がりました。子どもと一緒に親も色々学ばせてもらいました。